



岩 滴 り

強烈な陽の光をいっぱい吸込んだ水塊が、岩壁を這って紫紺の淀みに消えていく。岩膚を濡らす冷水の湿りが醸し出す淡い光の群は、水間に戯れながら七色の光を放ち誘いかける。その和らいだ空間の静寂に、幼い日々の思い出が胸中を去来する。

7月のおもな行事

- 1～5日 昭和57年度第2回定例県議会(6月24日から)
- 1～2日 昭和57年度毎月勤労統計調査ブロック会議(静岡)
- 1～31日 茨城県統計グラフコンクール作品募集(9月9日締切)
- 6日 小売物価調査員指導会(水戸市)
- 7日 第13回社会生活指標研究会(東京)
- 12～31日 商業統計調査調査票審査とりまとめ
- 20～21日 昭和57年度地域メッシュ統計及び社会人口統計体系地方別事務打合せ(栃木県)
- 21～23日 就業構造基本調査市町村説明会(水戸市, 下館市, 土浦市)
- 28～31日 学校保健統計調査審査とりまとめ(水戸市, 下館市, 土浦市)

就任のごあいさつ



茨城県企画部統計課長
茨城県統計協会副会長

宮 島 肇

このたび6月1日付をもちまして、県統計課長を拜命いたしますと同時に県統計協会副会長の職をお引き受けすることになりましたので、一言御挨拶申し上げます。

かねてから、統計が各種行政施策の基礎として重要な役割をもつものであることは十分承知いたしておったところでありますが、改めて統計のもつ重要な意義を再認識し、その重大さを痛感している次第であります。

今さら申し上げるまでもなく、わが国の統計は戦後30数年の歴史を経て著しく改善整備され今日に至っております。

現在では数多くの統計が国・地方公共団体の行政分野で、施策の企画立案、効果測定などの、又民間企業における経営方針策定などのそれぞれ基礎資料として活用されております。特に現今の急速に変貌する厳しい社会・経済情勢下においては、統計資料を基礎においた的確な現状認識と将来予測が不可欠となっており、統計に課せられた役割は益々重要な度を加えております。

県といたしましては、この社会の要請に応えるため、統計調査の環境整備、統計精度の向上及び結果の早期公表などを最重点に統計の充実に取り組んでいるところであります。

本年は、茨城県農業基本調査、就業構造基本調査、商業統計調査及び工業統計調査など約30の統計調査が行われることになっております。

いずれにいたしましても、重要な役割を持つ統計が、調査の第一線で活やくされている統計調査員の方々、行政の先端で尽力されている市町村統計担当者をはじめとする統計関係者の努力によって支えられていることを十分認識し、よりよい統計づくりに最善の努力をいたす所存でございますので、前任者同様皆さま方の暖かい御指導、御支援をお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。